




正法寺新聞

人生は
 やりなおす
 ことはできないが
 しかし見直す
 ことはできる

金子大榮

2024.7
 第24号
 正法寺発行

外を歩くと発見が多いのですが、最近は路肩のコンクリート下から生えている雑草に目がいきます。よくこんなに固いものの奥から植物が生えているなあ、と。周りにライバルがない、人や車に踏まれることで種を広げる、雨水がたまるので栄養がある、などたくさんの理由があるようです。長い時の中で植物たちが試みてきた工夫に驚かされます。



スタンプカードに記録しながら楽しく参加ができます。



聴く



貼る



通す



毎月28日 13:30~15:30
 (参加費500円)
 行いが
 わたしを
 導く時間
 報恩の心に学ぶ
 自分との向き合い方
 しんらん聖人ご命日のついで
 正法寺
 順調に開催中!

毎月28日の13:30から15:30まで正法寺本堂にて開催中の月一報恩講「行いがわたしを導く時間」。12月の帰敬式を受式されたい方はぜひご参加ください。 ※詳細は新聞裏面をご覧ください

洗心会企画

花まつり

5月12日(日)

おおむら子ども食堂と正法寺合同企画

タテタカコライブ



毎年恒例の洗心会主催春の法要「花まつり」が開催されました。昨年までは花まつりの後に、「初参り式」を開催していましたが、参加者の減少により今年は行っておりません。お昼からは、おおむら子ども食堂さんとの合同企画でタテタカコさんの無料ライブを開催しました。最初に正法寺の坊守とリトミック遊びをし、大谷派の保育協会のために作曲された「はじまりうのうた」を皆で歌いました。その後は、現在福砂屋400周年のCMで流れている「りうふう」など、タテタカコさんの世界を堪能しました。ボランティアさんも入れると100人を超える参加者でした。



タテさんの曲が
流れる福砂屋の動画



真宗大谷派
保育協会のために
タテさんが
書き下ろした曲



なんと!

福砂屋の社長さんからカステラ
150ヶの差し入れをいただき、
社員さんが届けてくださいました!

子ども食堂に来られた市内のたくさんのお子どもたちがお釈迦様の誕生仏に甘茶をかけてお祝いをしました。一緒に来られた多くのご家族も初めての甘茶かけを楽しみながら手を合わせておられました!



これまでのおこみち!!



月一報恩講『行いがわたしを導く時間』（略しておこみち）、順調に進めています。今年、住職手作りのお線香で「お香」のことが学べる「お香みち！」コーナーも毎月ある他、坊守からは様々なお茶を紹介しています。初めて参加の方も多いため、参加をお考えの方はまずは一度お越しください！参加予約はありません。（詳細は最終ページにあります）



毎月、住職手製のお線香をプレゼント。⇒



自分で色を選び世界に一つだけのお念珠が出来て嬉しかったです。

同じ材料でも作る方で全く違う印象のハスができるのが面白かったです。

～参加者の声～

お茶はいちじくのほのかな香りがしておいしく頂きました。お香の香りは上品で家で使うのが毎回楽しみです。



赤本は数回手にして真似て読んだりしていましたが記号の説明を聞くことができとても良かったです。少しずつ読めるようになりたいと思いました。

一日研修旅行に行きました！



真宗大谷派
九州教区教務所講堂にて



洗心会一日研修旅行
5月31日(金) 24名



まずは久留米の九州教務所へ。バスの中では自己紹介や、童謡などを歌いながら10時に到着。近代的な建物、明るい講堂に着席しました。正面の長身の阿弥陀如来様に一同礼拝。正信偈を勤行し、渋谷成師の法話を拝聴しました。「私の思い」と「身の事実」、「六道」について、項目ごとに一枚ずつ貼り紙による説明があり、みなさん食い入るように耳を傾けていました。ラインでお礼を送信すると「皆さんのお勤めの声や聞いて下さるお姿がとてもありがたくて身の引き締まる思いでした。」と返信がありました。昼食は翠香園ホテルでのミニフレンチコース。その後、道の駅「久留米」に寄りました。豊富な品揃えで、皆さん夕食を考へながら珍しい新鮮な野菜、ラーメン、おみやげ等買い求めました。無事大村に16時過ぎに到着しました。新会員の参加もあり寺友の絆が一層ふかまり意義深い旅行でした。

会長 堀出美智子



グリーフケアの視点から⑤ ~坊守発信~

グリーフケアの視点から5回目の発信です。
《『グリーフ』とは大切な人、ものなどを失うことによって生じるその人なりの反応、プロセスのこと》

新型コロナウイルスの影響で、葬儀や法事の形に変化が進みました。簡略化をのぞまなくてもそうなる場合もあるようです。何かご心配なことがあればお寺にご相談ください。新型コロナウイルスの有無に関係なく、身近な方とのお別れというのは人生の中でも非常に大事な時間です。葬儀から49日までの時間を過ごす中で、亡き人との出会い直しができ、そしてゆっくりとお別れができます。ぜひその時間を大切にしていきたいと思います。

前回までは、グリーフのさまざまな影響についてお伝えしてきました。今回、はグリーフのプロセスについてお話しします。

グリーフは、プロセス

グリーフというのは、点のようなひと時のことではなく、プロセスです。プロセス、という言葉がむずかしく感じるならば、「旅」という言葉を思い浮かべてみましょう。そうすると、「乗り越える」とか、「立ち直る」といった考え方から自由になれませんか？大切な方を失った気持ちは、その時々で変化します。例えば親を亡くした人が、就職・結婚・出産といったライフステージが変わるごとに寂しさを感じることは自然ですし、生活が忙しくなると忘れてしまうこともあるでしょう。またその時々感じ方は、時や、人によってもさまざまです。たとえ同じ家族の一員であってももちがっています。同じように考えて欲しいと思わず、自分自身がグリーフと共にあることを大切にしながら、近くにいる方の「大切な方との別れ」のとらえかたも肯定できたら楽になっていくかもしれません。

詳しいことが知りたい方は
お寺にて下の書籍も配布しております。

参考図書「大切な人を亡くしたあなたへ」⇒
製作：リヴオン 書籍が欲しい方は坊守まで



これも仏教用語?!

普段から使っている言葉には

仏教由来の言葉が実はたくさん。

そんな言葉を紹介いたします。今回の言葉は、

「覚悟（かくご）」

「覚悟」と言えば、「心構え」のことと受け取られますが、仏教語の「覚悟」は「真理に目覚め真理を体得する」という意味です。「覚」も「悟」も「さとる」という意味で、これは知的学習というよりも体験学習と言った方が近いように思います。それこそ禅宗では、坐禅を組み日常生活の行為全体が仏道だと教えます。浄土真宗も体験学習ですから、生活を通して学んでいくものです。真宗は「他力本願（たりきほんがん）」の教えだからといって何もしないものではなく、「他力」とは、生きていくこと全体が自分の思いを超えた世界であることを教える言葉です。

私達は日常生活を大雑把に行為しがちです。しかし、丁寧に行為を見ていけば、そこに自分の思いを超えた世界が展開していることに目が覚めます。

心に不調を来たした方がいました。その方は、鬱々（うつうつ）としてなかなか仕事ができませんでした。ところが、ある日、普段通勤時に降りていた駅のひとつ前の駅で降り、会社まで歩いたそうです。そうしたら、道端に咲いている小さな花や草たちが目に留まりました。普段の通勤では、そんなものは目に留まりませんでした。自分が不調になったお蔭で、いままで気にも止めていなかった世界が目に見え込んできたのです。へほんとうの世界は、自分の思いを超えた世界だと、小さないのちが教えてくれたのです。これが「覚悟」のひとつの現れ方でしょう。

武田定光氏 真宗大谷派因速寺住職



みつつけた!



ピッコロピアット

OPEN / 定休日:
お問い合わせください
大村市西本町479-22
電話:0957-48-5582

今回はご褒美ランチのご紹介です。

比較的手ごろで、且つおしゃれな雰囲気、イタリア料理、ピッコロピアットさんをご存じでしょうか?ランチタイムには駐車場は満車で入るのを躊躇しますが、店内は割と広いので、諦めずに行ってみましょう。今回はランチメニューからパスタのセットを頂きました。新鮮な前菜と優しい味のコンソメスープ、メインのパスタは厚切りベーコンのトマトソースでしっかりした味付けで飽きのこないお味でした。テラス席もあり、天気の良い日は大村湾からの風を感じられます。おいしいお料理と楽しいおしゃべり、ゆったりとした優雅なランチタイムは気分もすっきり、午後からの活力にもなりますよ。ピッコロピアットおすすめです。尚、予約すると安心です。



初参り式をしませんか?

仏様の前で誕生を祝いましょう!

花まつりでの「初参り」開催が難しくなったので、個人で受け付けます!と言ったところ、鬼橋の島田さんがご予約されました!こちらは、随時予約可能です!



坊守が、月間『同朋』にて音楽ジャーナリストの山崎広子さんと「声」について対談しました!現在正法寺にて、半額の二百円で販売中。ぜひ、お買い求めください!対談がきっかけで、ラジオも始めました!



1262年11月28日、90歳の生涯を終えられた親鸞聖人。親鸞聖人のご命日を縁に行われる仏事のことを「報恩講」といいます。今回から数回にわたって「報恩講」についてお伝えしていきます。



真宗・入門

しんしゅうおおたには
正法寺は真宗大谷派の寺院です

しんらんさま、ありがとうの集い？

真宗本廟（東本願寺）では、毎年十一月二十一日〜二十八日にかけて、正法寺では十二月五日〜八日にかけて報恩講が行われます。「恩」の元になった言葉には「私のためになされたさまさまを知る」という意味があります。私を支えるもの、助けてくれるものに感謝の気持ちがおおるとき「おかげさま」という言葉を使うことがありますよね。少しでも恩に報いたい、できることをさせていただけようという思い、行いを「報恩」といつてきたのです。ではなぜ親鸞聖人のご命日に行うのでしょうか。

はじめり

争いや災害が絶えない厳しい時代の中、人々に念仏を勧め、勇気づけられた恩師である法然上人。のちに親鸞聖人は「念仏を勧められたことで、地獄にいくことになっても後悔はしない」と話すほど信頼されています。法然上人が亡くなると、ご命日（二十五日）に集まった人々と教えを確かめ合い、ともに念仏しておられました。念仏の教えを明らかにして残してくださった先輩方の思いに感謝し、いつまでも忘れないようにと仏事が行われたのです。親鸞聖人が亡くなると、今度は親鸞聖人のご命日（二十八日）にも行われるようになり、今日まで続いています。（次回へ続く）（文責／法務員 谷）



住職が語る『正信偈』 第24回



惑染凡夫信心発 証知生死即涅槃
 必至無量光明土 諸有衆生皆普化

お釈迦様が阿弥陀如来について説いてくださった『仏説無量寿経』。そしてその『仏説無量寿経』にもとづいて天親菩薩がお作りになられた注釈書が『浄土論』。さらにまた『浄土論』を解釈して曇鸞大師が著されたのが『浄土論註』です。その『浄土論註』でどのようなことが説かれているのかを、親鸞聖人が詳しく解説してくださっているのが今学んでいるところとなります。

前回は「私たちが浄土に生まれるための往相のはたらきも、浄土で仏になり縁あるものを救おうとはたらきかける還相のすがたも阿弥陀仏の力に由来するものであり、私たちが浄土に生まれる身へと間違いなく定まるのは、浄土に生まれさせたいという阿弥陀如来の願いを信じる心だけである」ということを確認してまいりました。今回はその続きを見ていきましよう。

まず「惑染凡夫信心発」とあります。「煩惱に惑う凡夫に、阿弥陀如来の誓願を信じる心がおこってくる」ということです。煩惱という言葉は皆さんよくご存じのことかと思いますが、これは心身を乱し悩ませ、正しい判断をさまたげる心のはたらきをいいます。

また煩わしい、悩ましいといった苦しさを引き起こす心のはたらきでもありません。「惑」もまた迷い惑わされ正しい認識が出来ない心のはたらきで煩惱と同義語です。つまり惑染凡夫ということばは、煩惱に染まり汚れている凡夫、煩惱にとらわれて迷いから抜け出せない私たちのことを指します。その凡夫である私たちに信心がおこってくる。漢文は「主語(なにが) + 述語(どうする) + 目的語(なにを)」という流れです。

「信心発」は信心がおこるという意味になり、「発信心」なら信心をおこすという意味になります。ここで親鸞聖人は「信心発」とあらわしてくださっています。信心とは私たちが自分の意思でおこすものではなく、阿弥陀如来の本願のはたらき、他力によっておこってくることを示してくださっています。何かしら私たちに信ずる心がわいてくると縁となるものをいただく、信心は頂き物であるというのが親鸞聖人の受け取りなのではないかと。

「生死」という迷いの状態のままですが、涅槃という迷いから離れた状態に至ることがはっきりとなる」という意味です。生死は、生まれては死に、死んで生まれる苦しみや迷いのことです。煩惱により迷い苦しむ私たちのあり方です。逆に涅槃というのは、迷いや煩惱から離れ苦悩から解放された状態のことです。即はすぐに、ただちにということばです。等しいということばです。つまり生死という迷いの状態がそのまま涅槃

というさどりの状態になるということです。阿弥陀如来は私たちが煩惱に迷い苦しみなから生きていく存在であり、その煩惱から離れられない身であることを見抜いておられます。だからこそ、どんなものも救おうと誓願をたてられたのです。煩惱の身であるからこそ、救われる身でもある。信心をいただくことでそのことがはっきりと知らされてくるのではないのでしょうか。

最後に「必至無量光明土 諸有衆生皆普化」とあります。「必ず無量光明土に至るので、あらゆる人々は、みなもれなく導かれることになる」と曇鸞大師は説いてくださった」という意味です。無量光明土というのは阿弥陀如来のお浄土のことです。阿弥陀如来は限りなく光の仏様であるので、その浄土は無量光明土なのです。また光とは仏様の智慧をあらわす言葉です。ですから無量光明土とは仏様の智慧に満ち満ちた世界なのです。ですからお浄土で仏様の智慧をいただいた方々は、そこでのんびり過ごそうとは思わない。すぐさまあらゆるものを救おうと私たちにたらきかけてくださるのです。私たちは仏事の中で、亡き人をご縁として手を合

わせてお念仏させていたいただきます。そのことは先にお浄土に還られた方々が、私たちが導いてくださっている証してはないのでしょうか。

私たちが導いてくださっている証してはないのでしょうか。

月一報恩講「行いがわたしを導く時間」

「行いがわたしを導く時間」今年も新しい内容を取り入れて始まります。
 毎回必ずお念仏とお勤めの時間があり、さまざまなワークを一緒に行っていきます。
 それらの経験からみなさんが「仏さまの心」に気づいていく、「わたし」の内面に向き合っていく。
 そしてその両輪が感謝の心・報恩の心につながっていく —— そんな時間にしていきます。

予約なしで
参加可能!

3月

終了



赤本の世界
 全く初めてでも大丈夫。
 正信偈の読み方を中心にお伝えします。

4月

終了



ハスワーク
 専用用紙と紙コップで作るハスの花作り。
 お盆のお飾りにもおすすめです。
 ※作品を寄附くださる方は参加費は要りません

5月

終了



カンタ腕輪念珠作り
 左手首に付ける、普段使いに便利な腕輪念珠を作ります。
 ※作品を寄附くださる方は参加費は要りません

6月

終了



死の体験旅行
 海外のホスピスから始まったというワークショップ。専門のスタッフと行います。

今年はココロが違う!!

7月

仏具を磨こう
 ご自宅の仏具、お寺の仏具と一緒に磨きます。磨き方も細かく説明します。



9月

釈尊絵伝
 すごろく 煩惱
 すごろくをしながらお釈迦様の生涯を学びます。



今年はココロが違う!!

10月

お線香を作ろう
 手作り線香キットを使って自分だけのオリジナル線香を作ります。



11月

花をいけてみよう
 少しだけコツを知ると、花のいけ方はがらりと変わります。



12月

御正忌報恩講 (帰敬式)
 帰敬式は別途お申し込みが必要となります。



今年は **ココロ** が違う!!

毎月違う **お線香とお茶** をご紹介します



今月のお線香 今月のお茶

正信偈書写本

なぞって書く正信偈書写本。初心者でも安心。書いて学ぶ現代語訳付き!



1年に1回だけでも大丈夫

令和6年 毎月28日 13:30開始 1回500円

お問い合わせ

お電話、もしくはホームページより
TEL 0957-52-2247

正法寺 大村 検索
<http://omura-shoboji.jp/>
 produced by fat@omura20



正法寺
 〒856-0828長崎県大村市杭出津2-708
 (エレナ大村中央店・ナフコ南大村店裏)



正法寺LINE公式もあります。
 まずはお友達登録を!



LINE登録者、
 増えてます!!